

# 「備後に学ぶ地域の課題」

## 令和2年度実施報告

共同利用センター 鶴崎 健一

本学では、地域に貢献できる人材を輩出するために、共通教育科目の教養教育科目群として「F群（地域学）」を設置している。平成27年度から「備後に学ぶ地域の課題」という科目を設置した。設置から6年目の実施内容について報告する。

### 令和2年度の実施概要

令和2年度は、福山市企画財政局企画政策課と環境経済局環境保全課に協力いただき、前半を「人口減少対策について考える」、後半を「芦田川のイメージアップを考える」の2つをテーマの授業を展開した（参考資料1）。

前半は福山市市政シニアマネージャーの西依清香氏を中心に実施した。ブレインストーミングの方法やロジックツリーの作り方などを含めたディスカッションの仕方を講義いただき、福山市の人口の変化の状況やそれに対する政策ターゲット（ペルソナ）について企画政策課次長の森本直之氏に講義いただいた。さらに、ペルソナ実現のために活動されている福山市戦略推進マネージャー2名（寺尾忠久氏、裴崗氏）にオンラインで講義いただいた。その後、人口減少対策で考えられる4つの主だったテーマ（写真1）の中で興味のある項目を受講生に選んでもらった。それをもとに7つのチームに分かれてもらい、人口減少対策について、福山市への提案を考え（写真2、写真3）。

後半は、昨年に引き続き福山市環境経済局環境保全課 藤井厚匡課長にお願いし、「芦田川のイメージアップ」について検討した。昨年度までは、福山市が企画するふくやま環境大学に参加させていただいていたが、今年度は芦田川関連の企画がなく、独自企画のフィールドワークとして「芦田川見る視る館」見学（10月10日）を行った。10月10日は、10時30分にJR横尾駅に集合し、環境保全課藤井厚匡課長他職員および本学大学教育センター津田講師の引率のもと芦田川支流の高屋川沿いを散策しながら徒歩で「芦田川見る視る館」に移動した。到着後、高屋川の河川敷に降り、芦田川の環境保全活動を行っているNPO地域生活支援センター「ほんわか」から近辺の環境について説明を受け、観察および河川水の採取を行った（写真4）。11時20分から藤井氏によって芦田川の現状について説明していただいた。昼食後、13時から芦田川の水を使って簡易水質検査の実習を行った（写真5）。終了後、行きと同じように徒歩で高屋川沿いを散策しながらJR横尾駅に移動し14時30分に解散した。

その後の授業で、受講生個々人で芦田川の現状の講義やフィールドワークをもとに課題を考えてもらい、それらを材料として6つのチームに分かれ、各グルー

### 福山市への提案テーマ（案）

- ① 市内の高校生や大学生の、地元進学・就職希望をふやすには？
- ② 市内の若いお父さんやお母さんが、安心して出産・育児できるようにするには？
- ③ 地域外から訪れたいくなる、魅力ある福山市をつくるには？
- ④ その他（上記以外で、こんなテーマで提案したい/できそう！というアイデアがあれば）

写真1 人口減少対策提案テーマ



写真2 ディスカッションの様子

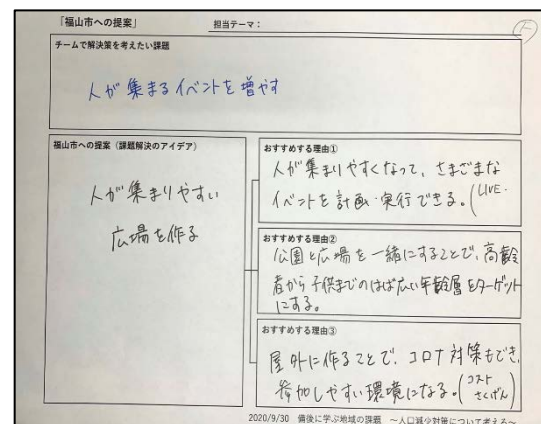


写真3 提案内容の1つ

プで課題の検討を行い、企画案を作成した（写真6）。

また、今年度も「松永に学ぶ産業と文化」の発表会と合同で12月19日（土）に社会連携推進センターで公開成果発表会を実施した（写真7、写真8）。

講義終了後に、Cerezoを通じて、レポート課題、授業アンケートを行った。

### 令和2年度の成果・課題について 受講者について

令和2年度の受講生は、これまでで一番多い35名の履修登録者数であった。例年であれば、後期の履修変更期間に大幅に減少していたが、履修にあたってフィールドワークが実施されることを事前通知しても、また初回での講義後でも、今年度はほとんど減ることはなかった。一方で、ディスカッションを中心とした授業形態から、複数教員で対応したものの全学生を把握できるギリギリの人数であった。1グループ5名程度で比較的ディスカッションしやすい人数ではあったが、グループによってディスカッションがうまく進まない場合もあった。教員が様子を見ながら議論の誘導を行ったが、例年に比べると指導が行き届かない部分もあったように思われる。



写真4 高屋川沿い散策と説明

### 成果物の作成・発表について

前半の「人口減少について」は、ディスカッションの方法やそれをまとめる方法を学ぶことを中心としたために、成果物としての完成度は必ずしも高くなかった。一方、「芦田川のイメージアップ」については、昨年までと同様、具体的な企画案を作るところまでを課題とした。最終的な完成度においては、昨年度までよりも高いものを作成することができた。昨年度同様に「松永に学ぶ産業と文化」と公開合同発表会を実施したことに加え、チーム数も多かったため、適度な緊張感を生み、学生にとってもよい影響を与えたように思う。学生の積極的な取り組みもあり、公开发表用のスライド作りや発表の練習のために授業の一環として、授業時間を設定することもできた。発表会での発表時間は各チーム8分としており、どのチームも予行練習の際には具体性が乏しく時間を余らせていた。しかし、本番では同じ資料スライドでも具体的にしっかりとした内容で発表を行うことができたのだが、予定時間を大幅に超える結果となった。時間内に納めることができなかったのは課題であるが、受講生の真面目で積極的な姿勢を評価したい。聴衆者からも質問や意見も多くいただき、学生にとっても良い勉強となったと考えられる。



写真5 水質調査時の説明

● 芦田川と学び、環境を育てる	アシダ川特戦隊チーム
● 芦田川教育	教育班チーム
● ポストカードで商品GET	All STAR チーム
● 芦田川ライブイベント Unser Licht	KANFA チーム
● 芦田川の魅力をSNSで発信する	SNS チーム
● みんなで学ぼう！芦田川について！！	インドカレー店（バイトリーダー）チーム

写真6 各チームの発表テーマ

### 学生の授業評価

授業評価アンケート（回答31名）による本講義の満足度は、概ね良好であった（「満足」7名・「ほぼ満足」18名・「どちらとも言えない」5名）が、1名「不満」と回答していた。「不満」と答えた受講生は、「話す人がいないと打ち解けられない グループ分けをしっかりと行うべきだとおもう」と感想を記していた（参考資料3）。グループ分けについては、基本的には受講生の出した意見をもとにして行っ

たが、受講生によっては友人などがいないところに振り分けられると思うように意見を言うことができなかつたのかもしれない。しかしながら、コミュニケーション能力を高めるためにはそのような経験も必要と考える。来年度以降は、もう少しこの辺りの説明や配慮も考えたい。

授業の適切性については、「適切であった」が19名、「比較的、簡単だった」が2名と「比較的、難しかった」が9名、「難しかった」が1名で、若干、受講生にとって難しいという評価となった。今回は、これまでと異なり2テーマで実施したことで課題の消化が難しかった可能性や、例年の約5倍の受講者数であったため教員側の目配りが不十分になった可能性があることが要因と思われる。来年度も2テーマで実施する予定なので、受講生が消化不良にならないような準備を行いたい。

また、学生の感想（参考資料3）には、これまでと同様、芦田川に関する知識が習得できただけでなく、グループワークでの積極性、主体性がいかに重要かを理解できたとの記載があり、この点については、本講義の到達目標が達成できたと思う。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染の影響でフィールドワークなどの実施が心配されたが、関係各所の協力で無事に授業を展開することができた。特に、福山市企画財政局企画政策課の森本氏と山本尊也氏および福山市市政シニアマネージャーの西依氏、そして、福山市環境経済局環境保全課の藤井氏と佐藤朗氏の献身的なご協力に非常に感謝している。また、福山市環境経済局環境保全課には、6年続けて協力いただいた。令和3年度は、福山市企画財政局企画政策課と西依氏には継続して「人口減少対策について考える」を担当いただき、「芦田川イメージアップ」に変えて、新規に産業振興として「福山市のデニム産業のイメージアップについて考える」の2つのテーマで実施する予定である。より充実した授業内容を目指し、学生の地域貢献の意識を高める一助となるようにしたい。

写真7 発表スライドの一部



写真8 社会連携推進センターでの発表会

## (参考資料1) シラバスの概要

講義名	備後に学ぶ地域の課題		
開講期・曜日・時限	後期・水曜・5時限 他	単位数	1単位
授業のねらい、概要	備後地域の様々な課題を題材に、学外調査やグループワークなどを行なうことで地域社会への貢献のあり方を考えていきます。前半3回は、福山市企画政策課の協力で福山市戦略推進マネージャーの指導のもと、「地域の人口減少対策」について福山市への提言を考えます。後半5回は、芦田川のきたないというイメージのため、本来の良さが伝わっていないという問題を抱えているので、そのイメージを払拭するための施策（アイデア）を考えます。		
授業（学習）の到達目標	地域を育み、地域に貢献する精神を身に付けることを目指します。グループワークや学外活動を通じて、コミュニケーション能力を身につけることを目指します。		

## (参考資料2) 各回の授業内容

授業回	授業内容
第1回 9月23日	ガイダンス（本講義の目的・進め方などの説明） 地域の人口減少対策1 福山市の「戦略マネージャー」の取り組みについて
第2回 9月30日	地域の人口減少対策2 若者目線から「人口減少対策に関する福山市への提言」を作成するグループワーク
第3回 10月7日	地域の人口減少対策3 若者目線から「人口減少対策に関する福山市への提言」を作成するグループワークと成果発表
第4～5回 10月10日	芦田川支流高屋川の見学、芦田川見る視る館での水質調査体験
第7回 10月14日	芦田川のイメージアップのための施策を考える1 フィールドワークで得た知識の整理・課題の洗い出し・課題解決方法の検討
第8回 10月21日	芦田川のイメージアップのための施策を考える2 成果物の構想・成果物（企画書）の構想
第9回 10月28日	芦田川のイメージアップのための施策を考える3 成果発表と討論 グループ発表・レポート課題説明
第10回 12月19日	はきもの資料館での公開成果発表会：成果発表と討論 グループ発表・ふりかえり

## (参考資料3) 学生の感想、意見

自分たちで課題解決について考えるのが楽しかったし、課題解決に向けての力が付けられて(まだまだですが)良かったです。ほかの班の意見も聞いて面白かったし、参考になるところがあって良かったです。
前半は特に、何をどうすればいいかわからなかったです。授業の進め方をもう少し変えた方がいいと思いました。また、発表会の際、プレゼンを聞きに来てくださる方にちゃんと授業の内容を把握していただきたいと思いました。例えば、「芦田川のイメージアップ」という目的で企画を考えたことや、イベントや教育などの項目に着目してグループ分けをしたなどを説明しておいて欲しかったです。先日の発表会の際に感じました。今までありがとうございました。
自分の見聞や考え方を広めるいい機会だった。こういうことをもっとしていけたらいいと思う。
地域に関することが学ぶことができると思っていたので、とても満足できる講義でした。受講していてよかったと思います。短い期間でしたが、ありがとうございました。あと少ししかありませんが、今後もよろしくお願いします。

グループワークをすることは楽しかったが、来ない人や意見を出さない人がいたので個人で何かやる方がいいと思いました。
本科目では、主にグループワークを行うことで初対面の人とでも円滑に話せるようなコミュニケーション能力を身につけることができたり、物事を様々な視点から考えて自分の意見を持つことができたりしたと思う。そして、自分の意見を持つことで周囲の人に意見を出す力もついた。コロナウイルスの影響で授業が短縮されてコロナウイルスの感染も心配だったが、感染対策もしっかりとされており、先生方の対応も素晴らしかったです。グループワークが上手くいかない時には、考えるヒントを与えてくださり非常に助かりました。
これはグループワークなので知らない人協力しながら芦田川の今現時点の問題を話しながら解決していくことはなかなか大変であったけれどもいいものが提案し、発表できたので、よかったです。
他の学科の人とも交流することができたので、とても楽しかったです。自分の地域について授業を通じて学ぶことができ、胸を張って他の地域に紹介をできるようになりました。自分たちが考えて出したアイデアが実際に使われたのかはわかりませんが、もし活用されていたら、自分たちにもわかるような形で教えていただけたらうれしいです。
何かを企画する、どうアイデアをつなげるか、また問題点とは実際はどれほど細かくあるか、どのように探していくのかプレゼンテーション企画の大変さがよくわかりました。
学校外の福山市の人と接する機会を設けていただいたり、見る見る館に行ったりするなどの授業はとても楽しく受けることが出来ました。またプレゼンテーションの発表なども緊張はしましたが、先生方が修正した方が良いところなどを教えてくださったので、とても勉強になったと思います。
プレゼンテーションをする時の大切なことをたくさん学ぶことができとても充実した授業でした。
話す人がいないと打ち解けられない グループ分けをしっかりと行うべきだとおもう。
チームのみんなと時間をかけて話し合うことが多かったので、いい意見をたくさん出すことができた。
今回の授業を通して、自分は地元の知らないことが多いなと感じました。また、地元がどのように見られているか、印象なども知ることができてよかったです。企画等の経験は将来役に立つと思いました。
備後の課題について理解を深めることができたので、いい講義だったと思います。
芦田川についての課題をグループで相談しながら発表できたのが良かったです。
色んな企画の発表が聞けて面白かったです。先生方や、福山市の方の貴重な意見も聞けて良かったです。
グループワークを中心的にやっていたから、いろいろな人と話すことが出来て楽しかった。
チームでのミーティングを通して、課題解決の方法を考えたり、分かりやすくて想いの伝わるプレゼンテーションを試行錯誤しながら作る中で、構成力や表現力、説得力を高めることができたので、良い経験になったと思う。授業内容が最初から「人口減少対策」と「芦田川のイメージアップ企画」の2つに決められており、取り上げる課題が絞られていたのが残念だった。地元の人や市役所関係者の人へのインタビューをもとにして、チームでのディスカッションをする中で、備後という地域での課題発見から行ってみたいかどうかと思う。また、授業での体験活動が「芦田川見る見る館」で行う水質検査だけだったので、ミーティングに使う時間を減らしたり、授業時間数を増やすなどして、地元で社会問題の改善に取り組まれている団体のもとで体験活動を行うべきだと思う。
芦田川のイメージアップ企画で人前で発表したことが自分的になかったので、良い経験になったし、自分的に成長できたことが良かったと思います。
見ず知らずのメンバーたちとチームワークをこなせる点はとても素晴らしいと思う。生徒たちのコミュニケーション力、統率力が試され、他人と触れ合うことで刺激を受け個人が成長できる。

知らない人しかいない中に一人で挑戦するという、個人的には初めての挑戦ができました。その中でただ座っているのではなく自分の意見を伝えるという、ほかの講義とは違う雰囲気が楽しかったです。コロナの影響で話し合いを直接できない、意見を出し合えないなどといったこともありましたができる限りのことはできました。これから社会に出て生きていくうえで自分の意見を伝えるということは特に大切なことだと思うので、その点でどの講義よりもコミュニケーションを学ぶことができる講義だったと思います。

私は福山出身ではないため、この授業を通じて初めて芦田川に行きました。実際に芦田川を訪れることで、自分が友人から聞いていた芦田川とは異なる現状を知ることができ、非常に良い経験となりました。

地元地域について深く学ぶ機会が少ないので、地元に興味を持って授業に挑むことが出来ました。他地域から来た生徒も、通っている福山ってこんなとこなんだと知ることも出来たと思います。福山出身の私でさえ、十分な認知が出来ていなかったこともありました。授業を通して地域を学んでいく中で、元々ある知識を紹介したり、昔はこうだったんだよと周りの人に伝えることも出来ました。その上、授業で発展的な内容を考えたり、新たな発見が出来たので楽しく学ぶことが出来ました。最初は、難しい内容だなと思うことが多かったですが、それに対して皆が真剣に素直に話し合いをしてくれたので自分もいろんな意見を伝えることが出来ました。自分の意見を上手く伝えることが出来なかった前の自分から、この授業を通して率先して意見を言えるようになったので成長できたと思います。また、授業内や発表までに先生方にたくさんサポートをしていただいたので授業でのグループワークもヒントをえてさらに良い物が考えられました。発表練習の際は、自分たちで気づくことの出来なかった問題点を丁寧に伝えていただいたのでより良い発表にすることが出来ました。ありがとうございました。

最初の外部講師の方が来られての授業は新鮮で大学の講義という感じがして楽しかったです。また、他学科の方とかかわりを持てる授業がこの科目しかなかったのも他学科の方とも数名話せるようになったのがよかったです。芦田川見る視る館見学も楽しかったですが、発表会も同様、土曜日の拘束時間が長いことはあまりうれしくありませんでした。来年度も同じ授業をするのであれば、Cerezoのプロジェクトの掲示板での連絡は気付くのが遅くなったり、周知しているかどうか分からないので何かほかの方法があればいいなと感じました。

地域について学べる授業だったので、備後地域から遥か遠くの地から来た私にとって大変に興味深い内容であったと思う。

時間割がよくわからなかったが考えるのは楽しかった。